

## 成田市入札等監視委員会議事概要（平成29年度第1回定例会議）

【日 時】 平成29年7月7日（金） 午後1時～3時

【場 所】 成田市役所議会棟3階執行部控室

【出席委員】 菊地委員長、枝広委員、福原委員

1. 開 会

2. 議 事

### (1) 入札及び契約手続の運用状況等について

平成28年10月1日から平成29年3月31日までの入札及び契約手続の運用状況等について、事務局から報告を行った。

委 員

入札及び契約手続の運用状況等について、今年度の特徴はあるか。

事務局

平成27年度下半期と比較して全体件数は6件の増加であり、概ね横ばいである。物品の指名競争が一般競争に移行したことにより指名競争が27件減少し、一般競争は37件増加した。

委 員

ゼロ市債導入による影響はあるか。

事務局

工事11案件、予定価格約2億5千万円分をゼロ市債で発注し、発注時期の平準化を図った。

### (2) 選定事例の審議について

平成28年10月1日から平成29年3月31日までの間に締結した契約の中から、3名の委員が事前に抽出した10件の選定事例について、次のとおり審議を行った。

事例1 成田市立久住中学校増築棟4級併行防音工事（建築工事）

〔一般競争入札（総合評価）〕

〔事務局及び事業担当課説明〕

委 員

生徒の増加数をどの程度見込んでいるか。

#### 事業担当課

工事発注時点の生徒数は81名。区画整理事業により平成40年度頃には約260名程度になると想定している。

#### 委員

総合評価方式で実施した本件には3者が入札し、最低価格ではない者が落札者となっているが、評価項目のどのような点が影響したか。

#### 事務局

評価値については、技術評価点20点、価格評価点80点となっており、配点の差については技術評価点の加点要素である優良工事表彰、工事成績の平均点等が影響している。

#### 委員

入札者は、採点結果を知っているか。

#### 事務局

開札後に開示している。

#### 委員

4級併行防音工事は国から補助金が出るか。

#### 事業担当課

防音部分については、成田国際空港株式会社の助成金が出る。国の補助金ではない。

#### 委員

防音の等級が2級、3級ではなく4級に決まった経緯は。

#### 事業担当課

成田国際空港株式会社との協議により決定した。

#### 委員

防音の等級が4級でも問題ないか。

#### 事業担当課

過去には2級の工事事例もあるが、航空機自体が改良されていることを踏まえ、同地区の小学校を4級で工事を実施したが支障はない。

#### 委員

基本設計、実施設計及び工事監理はすべて一貫して行われているか。

#### 事業担当課

設計と工事監理は別契約だが、随意契約で同一業者と契約している。

#### 委員

設計業務で安く受注し、随意契約で監理業務を高く受注する流れは問題があるため、契

約のあり方をしっかりと検証してほしい。

[以上で事例1の審議を終了]

## **事例2 成田市リサイクルプラザストックヤード建設工事（建築工事）**

[一般競争入札（総合評価）]

[事務局及び事業担当課説明]

### **委員**

スラグのリサイクルはどのように施設で行うか。

### **事業担当課**

まず、スラグを一旦検査ヤードに蓄積し、検査に合格したスラグを概ね 1,000 t 蓄積可能なスペースに貯留させ、合材会社の需要に合わせて供給する。合材会社ではアスファルトの骨材としてスラグを約 10%混せて出荷する。

### **委員**

スラグの品質管理はどのように行うか。

### **事業担当課**

検査ヤードでサンプリングし品質検査を行う。

### **委員**

本件は1者入札であるが、その理由をどのように捉えているか。

### **事務局**

入札の条件からは13者の応札が可能であったが、1者入札となったのは、業者において受注による利益を勘案した結果だと考える。特に建築工事においては、震災復興、オリンピック関連等の民間需要が高く、競争性が他と比べて若干低い傾向がみられる。

### **委員**

ストックヤード建設に関連する電気工事等も1者入札か。

### **事業担当課**

電気工事の入札は5者である。

[以上で事例2の審議を終了]

### 事例3 側溝整備工事（稲荷山柴田線）

〔一般競争入札〕

〔事務局及び事業担当課説明〕

#### 委員

事例として選定した案件において、契約日が同一であると落札率が近似値であり、同じ側溝整備工事でも契約日が異なると落札率が異なるが、どのように予定価格を積算したか。

#### 事務局

選定された案件はすべて最低制限価格で落札された案件であるが、昨年度の10月1日に最低制限価格の算定式のうち、現場管理費に乗ずる値を国、県と同一の値に変更したことにより、最低制限価格で落札された案件の落札率が時期によって異なっている。

#### 委員

事例として選定した案件すべてが、複数者が最低制限価格で入札し、抽選で落札者が決定した案件か。

#### 事務局

そのとおり。

#### 委員

最低制限価格が高いということにはならないか。

#### 事務局

最低制限価格制度は品質確保という点に主眼を置いていることから、過度な価格競争により品質の低下を招かないように最低制限価格を設定している。

〔以上で事例3の審議を終了〕

### 事例4 橋梁補修設計業務委託（茂ノ木第一橋他）

〔一般競争入札〕

〔事務局及び事業担当課説明〕

#### 委員

点検業務はどこがこの業者が実施したか。

#### 事業担当課

（株）高島テクノロジーセンター。

#### 委員

補修設計業者と点検業者に関連性はないということで良いか。

**事業担当課**

そのとおり。

**委員**

点検業務の落札率は高く、補修設計業務の落札率は低いが一般的な傾向か。

**事業担当課**

設計業務は、他の案件においても低い傾向があるように思われる。保守点検業務は、設計額のうち人工の占める割合が高いことから落札率が高いのかもしれないが、各々入札業者の考え方もあることから、一概には言えない。

**委員**

補修設計業務に応札した3者のうち、点検業務を受託した業者が高価格で入札しているが、点検業務を行った業者は、橋梁ごとの損傷状況などを知っているがゆえに、本件の補修設計業務の入札価格に影響したと考えられるか。

**事業担当課**

従前の点検で橋梁ごとの損傷状況を記録しているが、今回の業務でも、改めて現地調査を実施し補修設計をするものであり、個々の橋梁の損傷具合が影響することはないと考える。

**委員**

従前の点検結果の詳細は図面等で示されているか。

**事業担当課**

点検結果に図面等の詳細を示している。

**委員**

本件については、点検を行った業者とそのほかの業者の入札価格に開きがあることから、成果物をしっかりと検証してほしい。

**委員**

橋梁長寿命化修繕計画は何年ごとに策定か。

**事業担当課**

策定周期について決まりはないが、本市では平成24年に市内232橋の長寿命化修繕計画を策定している。そのなかで、健全度を示したABCDの4ランクうちC以下149橋については短期計画として7年程度での補修完了を目標としている。

**委員**

年度ごとの補修計画やどの橋梁をいつ補修するかといった内容をホームページで公開しているか。

**事業担当課**

長寿命化修繕計画の概要版はホームページに公開しているが、どの橋梁をいつ補修するか

といった詳細までは公開していない。なお、5年に1度の点検結果は公開している。

#### 委員

入札に参加できる資格者数はいくつか。

#### 事務局

土木関係建設関係コンサルタントの登録のある市内から県内業者までの309者である。

〔以上で事例4の審議を終了〕

### 事例5 三里塚消防署建設工事監理業務委託

〔随意契約〕

〔事務局及び事業担当課説明〕

#### 委員

設計業者に監理業務を随意契約しているが、設計業者決定の経過はどのようなものか。

#### 事業担当課

一般競争入札で37者の応札があり、34者が最低制限価格で入札し、抽選で桂設計が落札した。

#### 委員

他の事例でも設計業務を安く受注して、随意契約で監理業務を高く受注するようなことが懸念材料として挙げたが、設計業務と監理業務を一つの業務として発注できないか。

#### 事務局

設計業務の発注段階では監理する工事の詳細が決まっていないため、一つの業務として発注することは難しい。

#### 委員

設計額の積算方法はどのように行ったか。

#### 事業担当課

千葉県公共建築設計業務等積算基準に基づき積算した。

#### 委員

この工事規模であれば工事価格の2.5%から2.7%が監理業務価格として妥当だと思うが、本件は3%を超えているようだがいかがか。

#### 事業担当課

監理業務の価格は、建物の用途、延べ床面積により決まることから、それらの数値に県の積算基準を適用した。人工等を増やす特段の要素もないため、加算も行っていない。

## 委員

積算価格は適正か。

## 事業担当課

適正である。

[以上で事例5の審議を終了]

## 事例6 成田市学力調査業務委託

[随意契約（プロポーザル）]

[事務局及び事業担当課説明]

## 委員

プロポーザルではどのような提案がなされたか。

## 事業担当課

主な提案内容は、出題内容、採点の体制及び分析結果の見やすさのほか、業務の実施体制や実績についてなどであった。

## 委員

募集要項の中で提案すべき内容として、本業務に関する基本的な考え方や実施にあたっての優位な方法の提案等を示しているが、具体的にはどのような提案がされたか。

## 事業担当課

調査問題の出題割合や仕様に基づく提案がなされ、審査委員が聞き取りを行い、仕様に合致しているか確認を行った。

## 委員

資料として成田市学力調査プロポーザル審査基準が添付されているが、この基準に照らして今回の提案は何点だったか。

## 事業担当課

147.5点であった。

## 委員

評価点に小数点以下が生じたのはなぜか。

## 事業担当課

見積金額を点数化する際に小数点以下が生じた。

入札価格点＝価格点の配点×（1－入札価格÷予定価格）

## 委員

2 者が応札し 1 者が辞退しているが、公募は全国的に行ったか。

#### 事業担当課

地域は限定せず、成田市のホームページで公募を行った。

#### 委員

審査基準は成田市独自のものか。

#### 事業担当課

技術点と価格点の割合や価格点の計算式などは文科省のものを参考に作成し、実施要領及び募集要項については、他課のものを参考に作成している。

#### 委員

学力調査の分析結果の利用方法は各学校の判断によるか。

#### 事業担当課

調査結果の公表については、結果により各学校が序列化されないよう各学校の点数は公表していないが、各学校には平均点などの結果を公表するとともに、児童生徒に対しては振り返りのため個々の結果を配布している。

[以上で事例 6 の審議を終了]

### 事例 7 下水道維持修繕業務委託（平成 29 年度）

[随意契約（プロポーザル）]

[事務局及び事業担当課説明]

#### 委員

実施要領には業務報告書に基づき 3 か月ごとに出来高を支払うとあるが、契約書は定額の総額表記となっており、その整合性をどのように図っているか。

#### 事業担当課

四半期ごとに報告される出来高に契約時の単価を適用し、出来高額を算出したものに、当初の請負率を掛けた額で四半期ごとに清算し、年度末に全体の請負金額の変更契約を行っている。

#### 委員

年度末に出来高額の合計金額が契約金額より増減している場合はどのように対応するか。

#### 事業担当課

変更契約により対応している。前年度は減額、前々年度は増額であったが、当初契約金額からの変動額は小さい。



## 委員

契約金額より出来高額が少ない場合に、予算消化のための発注が生じないか。

## 事業担当課

それはない。突発的な事案のみ対応し、仮に大きな工事が必要な場合は応急処置のみ実施し、工事は別で発注することになると考える。

## 委員

今後はプロポーザルの応募が1者であっても結果や状況がわかる資料を添付してほしい。

## 事業担当課

応募は1者であったが選定委員会で評価を行い200満点中179点であった。

## 委員

どのような工事でもこの評価項目と評価基準を用いているか。

## 事業担当課

現在、本件しか該当案件がないためこの評価基準を用いている。

## 委員

1者入札であったが、その理由を何か推測しているか。

## 事業担当課

ホームページでの募集のほか、対象業者にメールを送付したことにより、応募はなかったが検討はしてもらえたのではないか。

[以上で事例7の審議を終了]

## 事例8 広報映像制作委託（ビデオルポなりた）（平成29年度）

[一般競争入札]

[事務局及び事業担当課説明]

## 委員

入札に参加できる資格者数はいくつか。

## 事務局

映画・写真制作に登録のある市内から県内業者の84者である。

## 委員

本件は84者のうち1者しか入札がなかった。また、他の事例でも1者入札がみられる。業務の質の向上や競争性の確保の観点から、応札者が多くなる方策を検討する必要がある。

## 委員

著作権の扱いはどのようになっているか。

**事業担当課**

納品時に著作権は市に帰属される。

**委員**

過去の受注状況はどうなっているか。

**事業担当課**

平成 27 年度からは今回と同一の業者でそれ以前は別の業者である。

**委員**

映像作品に対しアンケート等の評価を実施したことはあるか。

**事業担当課**

特にアンケートは実施していないが、ホームページのアクセス数を確認している。

**委員**

アクセス数はいくつか。

**事業担当課**

平成 28 年度のアクセス数は 5861 件である。

[以上で事例 8 の審議を終了]

**事例 9 豊住小学校仮設校舎借上**

[一般競争入札]

[事務局及び事業担当課説明]

**委員**

豊住小学校の築年数及び大規模改造工事の概要はどのようなものか。

**事業担当課**

築年数は 39 年である。工事の概要は躯体を残し、設備関係を更新するとともに、一部配置の見直し等を行うものである。

**委員**

改造工事の期間中は既存校舎を使用できないため、校舎として必要な機能をすべて満たした仮設校舎をリースするという事か。

**事業担当課**

そのとおり。

**委員**

仮設校舎には校舎として必要な機能がしっかりと含まれているか。

**事業担当課**

含まれている。

**委員**

契約期間とリース期間に差がある理由は。

**事業担当課**

大規模改造工事は主に今年の7、8月から来年の3月まで行う。仮設校舎借上の契約期間は、設計から確認申請、建築工事及びリース後の解体工事までの全期間であるのに対し、リース期間は7月14日の引渡し後から平成30年3月31日までとなっているため差が生じている

**委員**

リース期間は8.5か月だが、リース料金としては12か月で示されているがなぜか。

**事業担当課**

リース期間としては8.5か月だが、リース料金の支払い期間を解体までの12か月としているためである。

**委員**

落札した1者は他者と比べかなり低い金額だが問題ないか。

**事業担当課**

仕様どおりに進めているので、問題ないと判断している。

**委員**

資料の質疑回答書について、「詳細は実施設計時に協議する」といくつかの項目で回答しているが、詳細が決まっていないことで、無理をして低い金額で入札している可能性は考えられるか。

**事業担当課**

今回は必要な機能を有した校舎を借上げであることが目的であり、実施設計は業者が行うことから、詳細については協議により品質を確保していく考えである。落札金額については各々の業者の判断によるものだと考える。

**委員**

仮設校舎の建設地の一部がグラウンドに掛かっているがやむを得なかったか。

**事業担当課**

仮設校舎の建設場所については様々な議論があったが、隣接地に閉校した中学校がありそのグラウンドを運動会等で使用できることから現計画とした。

[以上で事例9の審議を終了]

## 事例10 成田市学校給食センター玉造分所 飯椀購入

〔一般競争入札〕

〔事務局及び事業担当課説明〕

### 委員

ごはん茶碗の生産が中止になって、同一製品がなくなったのか。

### 事務局

従来の平皿タイプのは生産中止となった。主流になっているお茶碗タイプのごはん茶碗に移行していく。

### 委員

参考型番として特定のメーカーの製品が示されているが、入札にあたって同等品申請はあったのか。

### 事務局

別メーカーの申請はなかった。

### 委員

参考として示した製品が食器洗浄機に一番対応しやすいということか。

### 事業担当課

今は平皿タイプのものに合わせて食器洗浄機を調整しているが、新しいタイプに変わればそれに合わせて食器洗浄機の調整を行う。それぞれ調整が必要なことから、平皿タイプと茶碗タイプを混合して使うことはできない。

### 委員

ごはん茶碗以外の食器についての状況はどのようになっているか。

### 事業担当課

ごはん茶碗以外におかずを乗せるプレートがあるが、製造中止等はない。

### 委員

参考型番にはEがついているが、現物にはついていない。違いはあるのか。成田市のプリントが入っているが市の指示によるものか。それによって価格は変わるのか。

### 事業担当課

メーカーに確認していないが型番にEがなくても製品としては同じものと認識している。プリントについては児童生徒に給食の時間を目でも楽しんでもらおうと図柄を市で指定している。市内の他の調理場でも同様のプリントをしたものを使用している。

〔以上で事例10の審議を終了〕

## 委員長

事例10までの審議を終えましたが、委員の皆様、全体を通じまして何かご意見・ご質問はあるか。

## 委員

応札者が極端に少ないことが続くようであれば、公募の方法を工夫する必要があると考える。

## 委員長

適正に職務が行われていることが確認できたが、より工夫が必要と思われる部分もあったので、今後も適切な事務の執行に努めていただきたい。

[以上で議題2の審議を終了]

(3) その他
---------

## 傍聴者

4名

## 次回定例会の日時の決定

次回の定例会議開催日時を次のとおり確認し決定した。

次回開催日 平成30年1月26日(金)

次回開催場所 成田市役所6階 中会議室

以上